

## GIGA スクール構想の国庫補助を活用した 児童・生徒の1人1台パソコンの整備について

児童・生徒を誰一人取り残すことのない公正に個別最適化された学びや創造性を育む学びを実現するとともに、今回のような臨時休業中の子どもたちの学習を保障するために、国庫補助金等を活用して児童・生徒の1人1台パソコンの整備を以下の通り進めることとしたい。

### 1 1人1台パソコンの効果

- 児童・生徒一人ひとりの学習の進捗に合わせ、自ら主体的に補充・発展学習に取り組むことができる。
- 夏季休業等の長期休業中の家庭における補充学習が充実し、さらには児童・生徒の学習の進捗状況の確認や生活指導・学習相談等にきめ細かく対応できるようになり、長期休業明けに増える不登校対策に効果が高いと考えられる。
- 今回のような臨時休業時において、映像コンテンツや担任による動画配信の工夫等、より充実した学習指導や生活指導が行える。
- 不登校傾向の児童・生徒が増加している中、学校以外の学習の場が提供できる。
- パソコンを家庭で管理することにより、保護者が子どもの学習状況を把握することができ子どもの教育に関わる機会が増える。

### 2 補助の概要

- 国は、令和4年度までに児童・生徒1人1台パソコンを整備する地方自治体に対して、令和2年度に限って、児童・生徒の2/3に該当するパソコンに1台当たり4.5万円の補助を行う。
- 複数の事業者から、パソコンと教育用ソフトを組み合わせたGIGAスクール構想に対応した4.5万円のパッケージが提供されている。
- 本市では国から、パソコン約8,200台分、約3億7,000万円の補助が受けられる。
- 地方自治体が負担する残り1/3のパソコンの整備費用については、「東京都市町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金」を充当することができる。

### 3 本市の対応

- 令和2年度に国庫補助の対象となる児童・生徒2/3（小4～6年、中1～3年分）と教職員のパソコンあわせて約9,100台を整備する。
- 令和3年度に残りの1/3（小1～3年分）約4,100台と、低学年（小1・2年分）のパソコンは学校で保管するため、パソコン充電保管庫を整備する。